

# 財務報告書

令和3(2021)事業年度



# 数字でみる大分大学

## 学部

教育学部…………… 1課程  
経済学部…………… 4学科  
医学部…………… 2学科  
理工学部…………… 2学科  
福祉健康科学部…………… 1学科

**5**学部

## 大学院

教育学研究科  
経済学研究科  
医学系研究科  
工学研究科  
福祉健康科学研究科

**5**研究科

## 学生・生徒数

※1

学部学生…………… 4,835人  
大学院生…………… 594人  
園児児童生徒数…………… 1,284人

**6,713**人

## 役員・教職員数

※1※3

学長…………… 1人  
理事・監事…………… 8人  
教員(常勤)…………… 667人  
教員(非常勤)…………… 774人  
職員(常勤)…………… 1,317人  
職員(非常勤)…………… 401人

**3,168**人

## 学部生の卒業後の状況

※2

卒業生数…………… 1,110人  
うち就職者数…………… 862人  
進学者数…………… 186人  
その他…………… 62人

就職率

**99.0**%

※就職率は就職決定者÷就職希望者  
その他は専修学校・外国の学校等入学者など

## 図書館

※2

蔵書数

**780,177**冊

入館者数

**81,692**人

貸出冊数

**19,679**冊

## 土地面積

※2

巨野原キャンパス…………… 653,982㎡  
挟間キャンパス…………… 256,025㎡  
王子キャンパス…………… 73,930㎡  
職員宿舎…………… 40,200㎡  
その他…………… 50,970㎡

**1,075,107**㎡

## 医学部附属病院

※2

診療科数

**30**診療科

病床数

**618**床

外来患者延数

**254,726**人

入院患者延数

**175,114**人

## 建物面積

※2

巨野原キャンパス…………… 94,909㎡  
挟間キャンパス…………… 122,902㎡  
王子キャンパス…………… 19,477㎡  
職員宿舎…………… 15,983㎡  
その他…………… 3,740㎡

**257,011**㎡

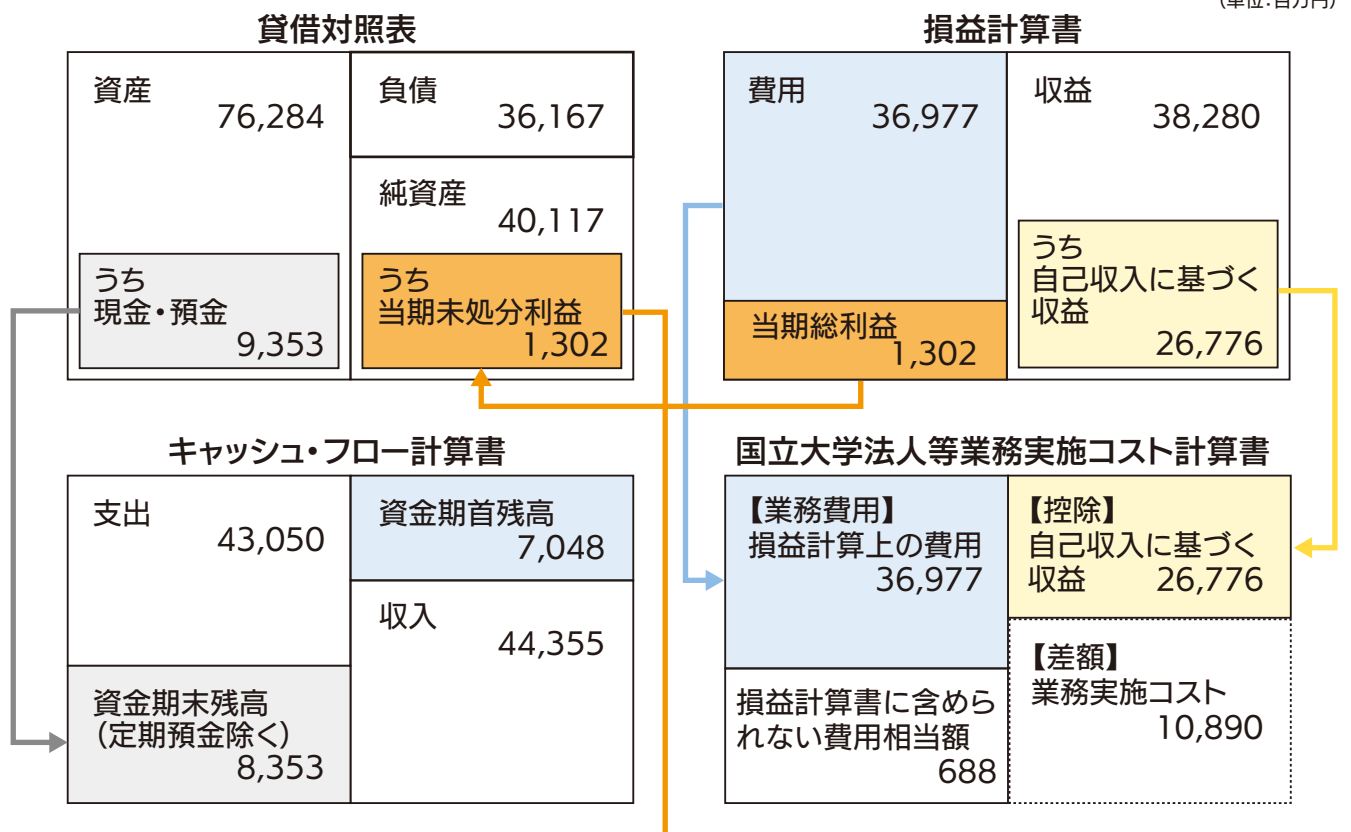
※1 令和3年5月1日現在

※2 令和3年度末現在

※3 財務諸表の附属明細書(19)の定義による人数のため、大学概要とは一致していません。

# 財務諸表の概要(令和3(2021)年度)

(単位:百万円)



## 《国立大学法人会計の特徴》

国立大学法人の財務諸表は、原則として企業会計原則によるものとされています。

しかし、国立大学法人の特色(主たる業務内容が教育・研究であること、学生納付金や附属病院収入等の固有かつ多額の収入を有すること、国立大学法人間における一定の統一的取扱いが必要とされること、など)を踏まえた会計処理が必要なことから、国立大学法人会計基準が定められており、企業会計基準に優先して適用されることとなっています。国立大学法人会計の主な特徴は以下のとおりです。

### 1. 利益処分・損失処理(中期目標期間最終年度)

令和3年度は、中期目標期間の最終年度となるため、当期未処分利益及び目的積立金等の残額はいったん積立金として整理されます。積立金は、文部科学大臣の承認後、国庫納付金を除き、前中期目標期間繰越積立金として第4期中期目標期間へ繰り越されます。

繰り越された前中期目標期間繰越積立金のうち、現金を伴う残額については、中期計画で定めた用途に充てることができます。会計処理上生じた現金を伴わない残額については、次年度以降に損失が生じた場合に、その損失と相殺されます。

当期未処分利益 1,302



第4期中期目標期間(令和4年度)

前中期目標期間繰越積立金

### 2. 財源別の会計処理と損益の発生要因

収益を計上するタイミングやその方法が財源別に定められており、運営費交付金や授業料を財源とする業務では損益が均衡するような会計制度となっています。しかし、附属病院収益や借入金などを財源とする業務では、必ずしも損益均衡とはならない場合があります。特に、附属病院再整備事業のような一時的な多額の施設・設備投資を行った場合には、予算の範囲内で適切な業務運営を行っていても、損益計算書では必然的に現金の残額を伴わない利益または現金の不足によらない損失が発生する場合があります。こうして発生した利益や損失は、利益処分や損失処理により相殺され、全期間を通算すると損益が均衡するものとなっています。

#### 損益不均衡の例

借入金による建物整備  
借入金 30億円  
返済据置期間 5年  
返済期間 20年  
償却期間 30年

区分	1~5年	6~25年	26年~30年	合計
附属病院収益 (返済財源)	—	1.5億円/年	—	30億円
費用 (減価償却費)	1億円/年	1億円/年	1億円/年	30億円
損益結果 (現金を伴わない)	▲1億円/年	+0.5億円/年	▲1億円/年	±0円

# 財務状況の推移(貸借対照表, 損益計算書)

(単位:百万円)

## 貸借対照表(資産)

■土地 ■建物・構築物 ■工具器具備品 ■その他固定資産 ■流動資産

年度	土地	建物・構築物	工具器具備品	その他固定資産	流動資産	合計
R3	19,878	30,267	6,028	4,925	15,184	76,284
R2	19,587	31,034	3,277	4,324	13,495	71,720
R1	19,587	30,112	4,089	4,440	12,208	70,439
H30	19,587	31,270	5,559	3,983	12,198	72,600
H29	19,587	31,689	5,899	4,548	12,690	74,415

別府大学大分キャンパスのグラウンドを購入したことにより増加しています。

減価償却により減少しています。

病院情報管理システム(リース)の更新及び高精度放射線治療システム(借入金)の購入により増加しています。

現金及び預金、未収附属病院収入などが含まれています。

## 貸借対照表(負債・純資産)

■固定負債 ■流動負債 ■資本金・資本剰余金 ■利益剰余金

年度	固定負債	流動負債	資本金・資本剰余金	利益剰余金	合計
R3	25,226	10,940	35,260	4,857	36,167 40,117
R2	22,937	10,057	34,698	4,025	32,995 38,724
R1	24,108	9,061	33,721	3,547	33,169 37,269
H30	25,449	8,923	33,945	4,282	34,373 38,227
H29	26,089	9,260	34,603	4,462	35,349 39,066

病院情報管理システム(リース)の更新によりリース債務が増加しています。

未払金や、前受委託研究費等が含まれています。

国から出資された土地・建物等や、施設整備費補助金により整備した建物等の簿価に対応するものです。

当期総利益の発生により増加しています。

上段：負債  
下段：純資産

## 損益計算書(費用)

■教育研究経費 ■診療経費 ■人件費 ■その他費用

年度	教育研究経費	診療経費	人件費	その他費用	合計
R3	2,490	14,766	17,760	1,959	36,977
R2	2,521	14,489	17,708	1,680	36,400
R1	2,488	14,497	18,070	1,797	36,853
H30	2,527	13,690	17,653	1,718	35,589
H29	2,619	13,525	17,114	2,255	35,515

附属病院収益の増加に伴い、診療材料費等が増加しています。

新型コロナウイルスPCR検査及び新型コロナウイルスワクチン職域接種に伴う受託事業費が増加しています。

## 損益計算書(収益)

■運営費交付金収益 ■授業料収益, 入学金収益, 検定料収益 ■附属病院収益 ■その他収益

年度	運営費交付金収益	授業料収益, 入学金収益, 検定料収益	附属病院収益	その他収益	合計
R3	8,981	3,241	21,482	4,575	38,280
R2	8,950	3,299	21,173	3,454	36,878
R1	9,421	3,330	20,956	2,537	36,246
H30	9,203	3,370	20,248	2,601	35,423
H29	9,627	3,342	19,358	2,746	35,075

新型コロナウイルス感染症患者を受け入れながらも通常診療(高難度手術や検査など)の維持に努めたことや、外来化学療法実施件数の増により増加しています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る補助金や受託事業費の受入などにより増加しています。

※資産見返負債戻入は各財源の収益に含めています。(例:資産見返運営費交付金戻入は運営費交付金収益に含めています。)

# 財務状況の推移 (国立大学法人等業務実施コスト計算書)

(単位:百万円)

区 分	H29	H30	R1	R2	R3
業 務 費 用	11,023	10,207	10,790	10,310	10,201
損益外費用相当額	909	817	735	774	911
引当外費用相当額	▲ 457	▲ 191	▲ 363	▲ 70	▲ 290
機 会 費 用	14	0	1	38	67
業務実施コスト	11,489	10,833	11,165	11,051	10,890

国立大学法人等業務実施コスト計算書は、国民の負担に帰せられるコストを計算したものです。損益計算書のうち国・地方公共団体からの交付金等による費用に、損益計算書に含めないこととなっている費用相当額を加えて算出します。

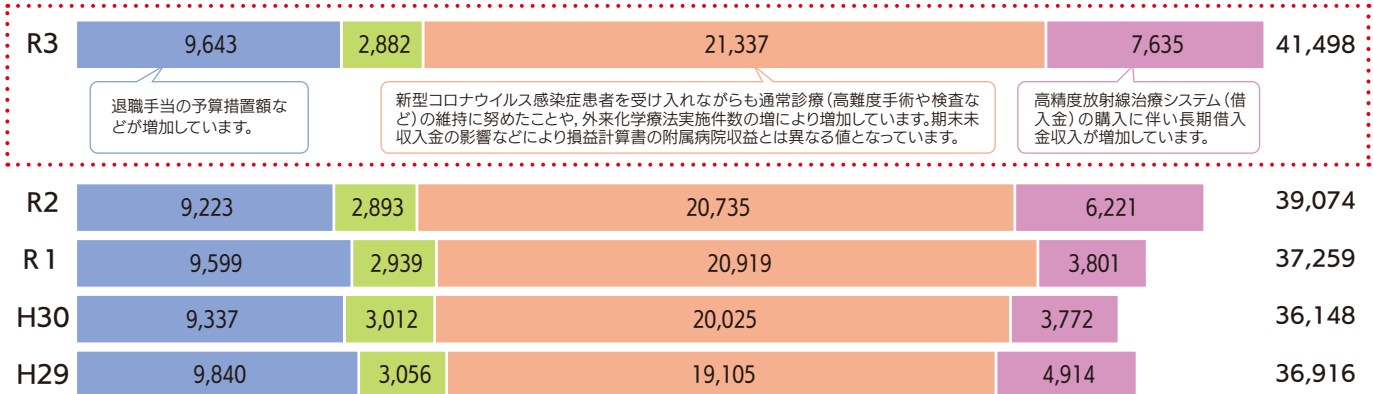
令和3年度は10,890百万円を国民に負担していただいたこととなっており、**国民一人当たり**に換算すると**87円**となります。(令和3年11月1日現在総人口125百万人)

## 決算報告書の推移

(単位:百万円)

### 収入

■ 運営費交付金 ■ 授業料、入学料及び検定料収入 ■ 附属病院収入 ■ その他収入



### 支出

■ 教育研究経費 ■ 診療経費 ■ その他支出



会計基準に基づき作成する財務諸表とは異なり、決算報告書は官庁会計の現金主義に準じて作成した予算執行の結果を表す書類となっています。

各年度とも収入が支出を上回っていますが、その差は、翌事業年度以降の事業に使用する運営費交付金などとなっています。しかしながら、国からの運営費交付金の配分額算定では、令和元年度より全国共通的なアウトカム指標に基づく評価結果が反映されることとなり、これまで以上に大学間での競争が厳しくなりました。このような中、新たな業務に取り組むための収入は十分ではなく、財政面では非常に厳しい経営を行っています。不足する収入を補うため、大分大学の持つ研究シーズと企業等のニーズのマッチングにより、受託研究や共同研究などの外部資金獲得が急務となっています。

## 教育研究等の成果

### <教員就職率及び正規教員就職率で2年連続全国1位>

文部科学省が発表した「国立の教員養成大学・学部(教員養成課程)の大学別就職状況」において、教育学部令和3年3月卒業生の教員就職率(正規+臨時)(76.4%)、正規教員就職率(64.3%)が、令和2年3月卒業生に引き続き、全国の国立教員養成系大学・学部の中で1位となりました。

### <国家試験で高い合格率を達成>

国家試験において、医学部及び福祉健康科学部の令和4年3月卒業生が共に高い合格率を達成しました。医師国家試験合格率は九州内の国立大学で第1位となり、精神保健福祉士は9年連続合格率100%を達成しました。

国家試験		合格率 (新卒)	国家試験		合格率 (新卒)
医	師	97.3%	理 学 療 法 士		100%
看	護 師	100%	社 会 福 祉 士		93.8%
保	健 師	90.6%	精神保健福祉士		100%

### <グローバル感染症研究センターの設置>

令和3年10月に、国境・県境を越えたグローバル(グローバル/ローカル)な新興・再興感染症に対峙できる研究活動と人材育成を行うことで我が国の感染症研究基盤を強化・充実するため、本学初となる全国共同利用型の研究施設「大分大学グローバル感染症研究センター」を設置しました。先進的な感染症に関する研究を推進するとともに、医学部関連講座とも連携し、新薬の開発なども積極的に展開し、本学独自の特色として強化を図る計画です。

### <国際感染症研究の推進(地球規模課題解決対応国際科学技術協力(SATREPS)事業)>

「フィリピンにおける狂犬病排除に向けたワンヘルス・アプローチ予防・治療ネットワークモデル構築」では、現地研究機関等と協力し、現地動物狂犬病診断施設において本学が開発した迅速抗原検出キットの実用性を評価し、収集した疫学情報などとともに住民への健康被害に対する施策の提言と実装に繋げました。

「ピロリ菌感染症関連死撲滅に向けた中核拠点形成事業」では、ブータン王国におけるピロリ菌感染症と胃癌対策に関連した研究開発及び社会実装研究実施を開始しました。

### <防災・減災への対応(減災・復興デザイン教育研究センター(CERD))>

「地域災害レジリエンス強化統合システム」の整備を行い、災害情報活用プラットフォーム(EDISON)と大分県災害対応支援システムの連携に加え、IoTを活用した地震計を県内市町村の指定避難所40施設(60台)に設置しました。

また、令和3年6月に大分県津久見市で発生した斜面崩壊、令和4年1月に発生した日向灘を震源としたマグニチュード6.6の地震の際には、大分県や市町村との協定に基づく災害時対応(助言や現地調査、情報提供)を実施しました。

### <新型コロナウイルス感染症に係る対応(附属病院)>

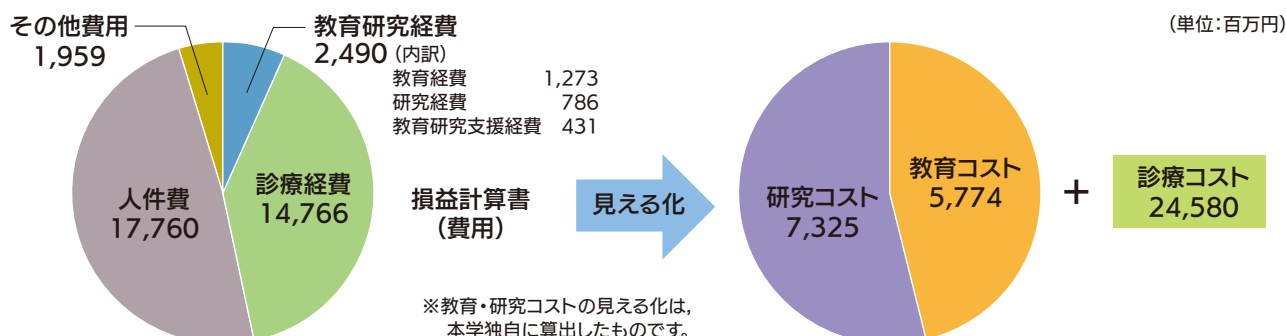
医学部附属病院は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症患者及び疑い患者用の病床を確保する「重点医療機関」及び「協力医療機関」に指定され、患者の受入れを行いました。

県内感染者数の増加に伴って開設された宿泊療養施設や臨時の医療施設、医療が逼迫した状況にある県外自治体に医師、看護師を派遣しました。

## 教育・研究コストの見える化

損益計算書では、国立大学法人会計基準で定められた教育経費、研究経費等の業務費区分別の表示がなされていますが、教員や職員の人件費は教育・研究等の活動別には区分されていないため、活動別にどれだけのコストがかかっているかは見るできません。

このため、損益計算書等の決算上の数値を用いて、各経費を教育・研究・診療に区分し、「実績として1年間にどの程度の教育・研究コスト等が発生したか。」を算出すると、次のようになっています。



# 大分大学ビジョン2040

## 教育

持続可能で多様性にあふれる社会を創生する人材を育てるための開かれた学びの創造

1. 【社会変革を創生する人材の育成】
2. 【世界と地域をつなげるグローバル人材の育成】
3. 【インクルーシブ社会に向けた学びの機会の提供】

## 研究

世界の知をリードし、地域及び国際社会の現在及び未来の課題に応える新たな学問領域の開拓とイノベーション創出の推進

1. 【世界へ通じる研究拠点】
2. 【分野融合・組織的な研究体制】
3. 【自治体・産業界との連携強化】

## 医療・福祉

先端医療と高度な福祉支援の推進、地域への健康と福祉の提供

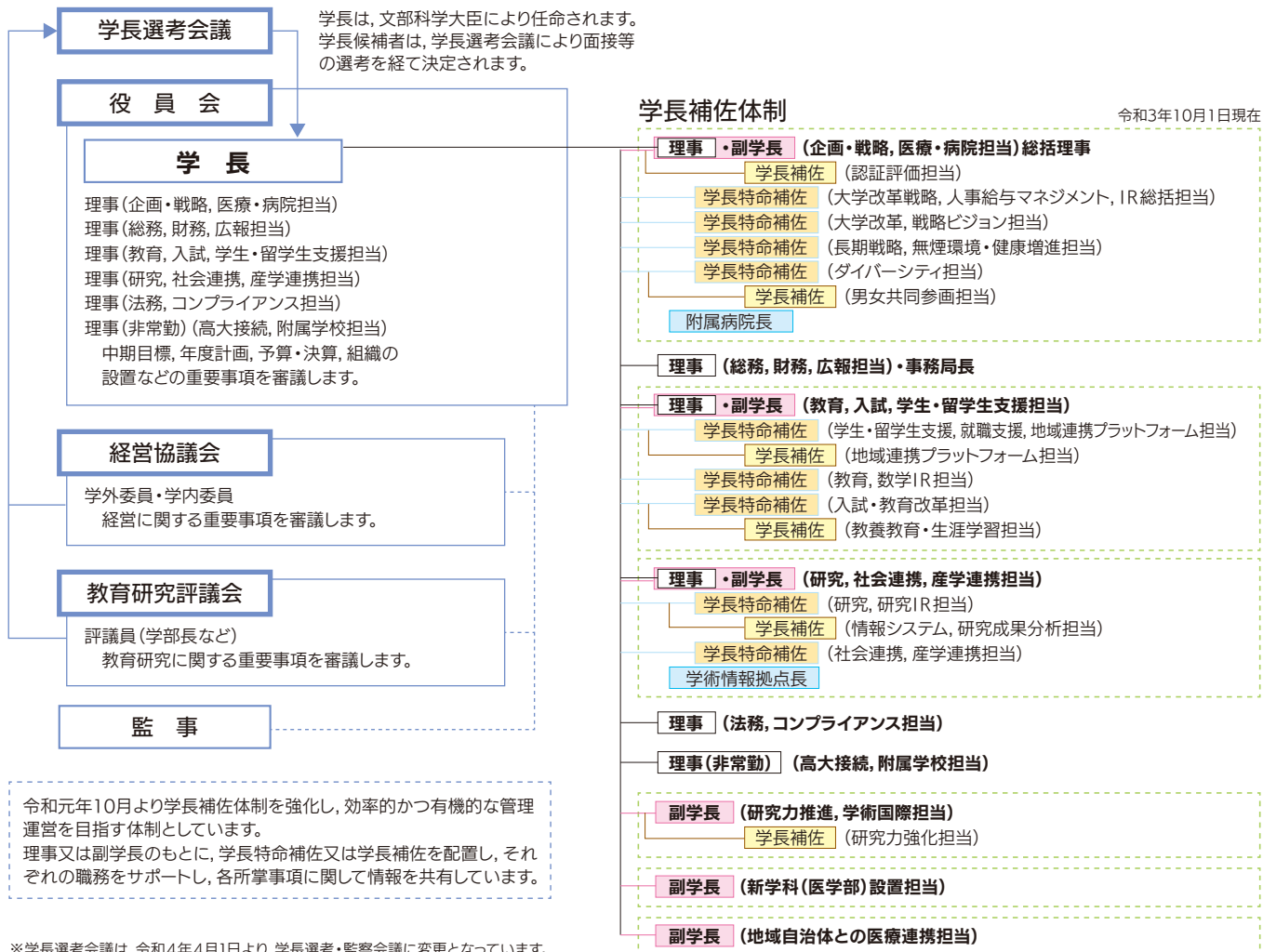
1. 【最先端医療の推進】
2. 【感染症研究・医療の充実】
3. 【地域共生社会の実現】
4. 【医療技術イノベーションの推進】

## 地域貢献

次世代に誇れる魅力的で持続可能な地域社会のデザイン

1. 【魅力溢れる地域社会の実現】
2. 【クライシスマネジメント機能とレジリエンスの強化】
3. 【広域連携と地方創生】

## 運営体制(ガバナンス)





※財務諸表等は，国立大学法人 大分大学ホームページに掲載しています。  
ホーム>大学紹介>情報公開・個人情報保護>法人情報提供>財務に関する情報  
<https://www.oita-u.ac.jp/13joho/johokokai/hojnjoho-zaimu.html>



※本紙では，各係数は単位未満を切り捨てし表示しているため，計が一致しない場合があります。

令和3(2021)事業年度  
財務報告書

国立大学法人 大分大学 財務部 財務企画課  
〒870-1192 大分県大分市大字旦野原700番地  
TEL097-554-7942 E-mail:kessan@oita-u.ac.jp  
<https://www.oita-u.ac.jp/>

令和4年9月発行